

好きです！

南関三小

学校教育目標
「やさしく・しっかり考え・たくましい
『南関三小っ子』の育成」

《育てたい力》
協力する力 **考える力** **やり抜く力**

後期前半終了

～育っています！ 南関第三小学校で育てたい 3つの資質・能力～

12月24日（水）、後期前半終わりの会を迎える前に、子供たちは「ふり返りカード」を通して、自分の生活や学習を見つめ直しました。そこから、南関第三小学校が大切にしている「協力する力」「考える力」「やり抜く力」の3つの資質・能力が、日々の学校生活の中でしっかりと育まれている様子が分かりました。

「協力する力」では、「ペアやグループで力を合わせて学習した」「係や当番の仕事を進んで行った」「友達と仲よく過ごした」などの記述が多く見られました。また「修学旅行で心を一つにして協力した」「委員会でみんなのために動いた」といった高学年として頼もしさを感じる記述もありました。

「考える力」では、「自分の考えをもって発表した」「友達の意見と比べながら聞いた」「よいことと悪いことを考えて行動した」「今何すべきかを考えた」など、自分で考え、行動する姿が見られました。「意見文を書く力がついた」「歴史の学習をがんばった」など、学びを深める喜びも伝わりました。



そして「やり抜く力」。「最後まであきらめずに問題を解いた」「苦手な運動にも挑戦した」「宿題を毎日忘れずに取り組んだ」など、コツコツと努力を重ねる姿が印象的でした。さらに「大事な勉強を毎日続けた」「計画的に宿題を終わらせた」といった自律した行動も見られ「チャレンジ！一歩前進！」している姿に感心しました。

子供たちのふり返りからは、自分の成長を実感し、次の目標に向かって前向きに進もうとする気持ちが伝わってきます。来年も南関第三小学校では、子供たち一人ひとりの「協力する力」「考える力」「やり抜く力」を大切に育て、心身ともに豊かにたくましく成長していくよう、共通実践と取組の検証をしながら学校全体で取り組んでいきます。

新聞投稿の取組

南関三小では新聞投稿を積極的に行ってます。あしきた青少年の家での集団宿泊教室でペーロン船体験において、みんなで声を合わせ「協力する力」を發揮してレースで1位に。水俣の環境センターでの学びや、水俣病の語り部の方の「自分と向き合うことで幸せに気づける」という言葉に心を打たれ、発表が苦手な自分とも向き合い、前向きに挑戦していこうという決意を表現した5年生の荒牧優希さん「集団宿泊参加 学びと思い出」【R7.12.19付け熊日】が掲載されました。どうぞご覧いただきご一読ください。

